



夕方の5～7（ゴーナナ）は“魔の時間”
～歩行者は反射材等を着用
ドライバーは早めのライトオン～

交通事故防止のPOINT

R7-③



自動車運転中の交通事故防止

～運転中に意識してほしいこと～



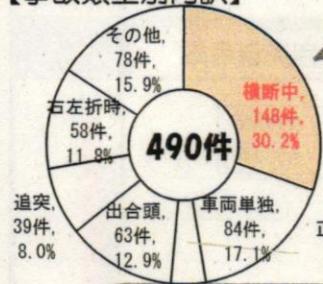
自動車は、便利な移動手段である一方、運転方法によっては、人の命を奪う危険性のある乗り物もあります。

そこで今回は、ドライバーの方が運転中に意識してほしいポイントを紹介します。

※各データは令和2年～令和6年に愛知県内で発生した交通事故をもとに作成

自動車が第一当事者となる死亡事故の特徴

【事故類型別内訳】



【横断中事故の衝突地点】

横断中の歩行者との衝突が全体の約4分の1を占めています！



【横断中事故の6割以上が横断歩道以外で発生しています！】



ドライバーが横断中の歩行者をいち早く発見し、停止する、速度を落とすなどにより多くの事故を防ぐことができます。次に「横断中の歩行者との死亡事故」には次の特徴がありますので、この点に注意した運転をしてください。

ドライバーから見て

右から横断してくる歩行者

との死亡事故が多発しています。

右から横断



【自動車×歩行者 進行方向別死亡事故件数】

※事故類型「横断中」かつ信号のない場所での死亡事故を抽出

総数	左から横断	→差→	右から横断	計
21	4.1倍	86	107	

「右から」は「左から」の約4倍も発生しています！

昼夜別	左から横断	→差→	右から横断	計
昼間	8	3.0倍	24	32
夜間	13	4.8倍	62	75

夜間は件数と比率がともに高くなります！

衝突地点	左から横断	→差→	右から横断	計
横断歩道	4	4.0倍	18	21
横断歩道以外	17	4.5倍	68	86

横断歩道以外が多発しています！

○右から横断してくる歩行者は、「車がまだ遠くにいるから横断できる」と思い横断してしまうことが原因として考えられます。

○横断歩道のない単路を走行中、「まさか右から歩いてくる人はいない」と油断しているかもしれません？



ドライバーは、

- ①横断歩道手前では、必ず左右の安全を確認し、歩行者を発見したら必ず止まりましょう。
- ②歩行者を発見してもすぐ対応できるよう、制限速度を必ず守りましょう。
- ③左側の店舗の看板や明かりなどに気を奪われることなく、常に前方注視を怠らないようにしましょう。